

フィリピン
生産統計開発計画
フォローアップ調査報告書

平成 15 (2003)年 3 月

JICA LIBRARY



1172845(8)

国際協力事業団
鉱工業開発調査部

鉱調工
JR
03-097

フィリピン

生産統計開発計画
フォローアップ調査報告書

平成15(2003)年3月

国際協力事業団
鉱工業開発調査部



1172845(8)

第1章 フォローアップ調査の概要	1
1 調査実施の背景・経緯	1
2 フォローアップ調査の目的	2
3 フォローアップ調査の範囲	2
4 調査団概要	2
5 NSO 側カウンターパート・リスト	3
第2章 フォローアップ調査実施内容及び結果	4
1 フォローアップ調査実施方針	4
2 本格調査終了後のMSPパイロット調査実施状況	4
(1) 調査スキーム	4
(2) データ審査	5
(3) 要員の配置	5
3 フォローアップ調査における支援内容	6
3.1 実査支援	6
(1) 事業所フォローアップ作業への提言	6
(2) 要員の拡充	7
(3) 第一、第二四半期品目別入力データチェックシートの作成と分析	7
(4) 地方事務所訪問	9
(5) 日系企業調査とMSPへのフィードバック	10
(6) 調査ツールのレビュー	11
(7) 回収率	11
3.2 新指数算定のためのシステム開発支援	12
3.3 MSP及び新MISSIの新指数算定支援	13
3.4 新MISSI移行への準備支援	15
(1) 2003年MSPパイロット調査	15
(2) Technical Notes on New MISSI	18
(3) 指定統計認定のプロセス	22
第3章 フォローアップ調査後の対応	24
1 新MISSI用コンピュータシステムについて	24
2 今後の協力のあり方	25
付属資料	26



第1章 フォローアップ調査の概要

1 調査実施の背景・経緯

「フィリピン生産統計開発計画調査」（以下、本格調査）は、2000年8月から2002年3月まで実施され、品目別数量月次調査（MSP）の設計、新指数の開発、及び既存の月次調査から品目別数量調査への移行プログラムの策定に係る提言を行った。（本格調査の提言の要旨については、添付資料-1を参照）

本格調査終了後、フィリピン国家統計局（NSO）は日本側の提言に従い2002年の12ヶ月を対象にMSPのパイロット調査を、多少の遅れはあるもの自助努力で着実に進めており、また指定統計として本格的にフィリピンにおいてMSPを導入するための具体的な実行計画も策定している。

本格調査終了時の2002年3月6日にNSOはMSPパイロット調査の趣旨と狙いを説明するとともに調査への理解と協力を求めるために、関連政府機関、工業団体、及び調査対象企業を招いたConsultative Meetingを開催しており、その席上、NSO長官はパイロット調査でMSPのfeasibilityを確認した後、現行MISSIからMSPを中心とした新MISSIへ移行する、と明言もしている。

しかしながら、データの精度の検証、指数の計算作業等の実作業において困難に直面することが予想されることから、NSOは日本の追加支援を求めてきた。

また、MSPを中心とする新たな生産動態統計制度（新MISSI）が現行の月次調査（MISSI）に代わり指定統計として本格的に導入されるためにはフィリピン国家統計調整委員会（NSCB）の認定が必要であるが、そのためにはパイロット調査の結果、算出される統計値を示す必要がある。

以上より、パイロット調査を成功裏に実施させることは、本格調査提言による新MISSI制度の導入のために必要不可欠であることから、フィリピン側が実施しているパイロット調査の支援を目的としたフォローアップ調査を実施することとした。

2 フォローアップ調査の目的

本フォローアップ調査は、フィリピンにおける新 MISSI の円滑な導入を目標とし、パイロット調査、及びその導入までに必要な作業に対する支援を、本格調査の提言内容に従い、NSO に対して行うことを目的とする。

3 フォローアップ調査の範囲

本フォローアップ調査は、パイロット調査を成功裏に終了させるために、NSO 側が主体的に実施しているパイロット調査を側面的に支援するものである。本フォローアップ調査における NSO に対する具体的な支援項目は次の通りである。

- (1) MSP パイロット調査の実査支援
- (2) 新指数算定のためのシステム開発支援
- (3) MSP および新 MISSI の新指数算定支援
- (4) 新 MISSI 移行への準備支援

なお、今後 NSO が継続的に月次統計調査を行っていくためには、データ入力、指数算定等にコンピュータシステムが必要となるが、本フォローアップ調査では現在 NSO 側が構築中のシステム開発への支援を行うものの、日本側による新たなシステムの開発は行わないこととする。

4 調査団概要

フォローアップ調査は、以下のとおり 3 度に亘り現地調査が行われた。

- (1) 第一次現地調査 2002 年 10 月 2 日から 11 月 10 日まで
- (2) 第二次現地調査 2002 年 11 月 14 日から 12 月 20 日まで
- (3) 第三次現地調査 2003 年 1 月 26 日から 3 月 22 日まで

調査に参加した団員は以下のとおり。

氏名	調査項目	所属先	備考
矢崎 修	生産統計行政	経済産業省経済産業政策局調査統計部 統計企画解析課（国際担当） 国際統計専門職	第2次現地調査のみ
黒澤 宏雄	生産統計行政	経済産業省経済産業政策局調査統計部 統計企画解析課（国際担当） 国際一係長	第1時現地調査のみ
中本 明男	調査企画	国際協力事業団鉱工業開発調査部 工業開発調査課	第1時現地調査のみ
守口 徹	生産統計制度移行計画	ユニコインターナショナル（株）	役務提供契約コンサルタント
広神 勝彦	実査・実数値整備	ユニコインターナショナル（株）	役務提供契約コンサルタント
五十嵐 義明	指数算定Ⅰ	三井情報開発（株）	役務提供契約コンサルタント
新垣 巽	指数算定Ⅱ	ユニコインターナショナル（株）	役務提供契約コンサルタント
丸山 智規	システム構築・月次業務確立	三井情報開発（株）	役務提供契約コンサルタント

5 NSO 側カウンターパート・リスト

Ms. Carmelita Ericta	Administrator and Civil Registrar General
Ms. Estela de Guzman	Director of Industry and Trade Statistics Department
Ms. Lourdes Homecillo	Chief of Industry Statistics Division (ISD)
Ms. Dulce Regala	ISD
Mr. Efren Armonia	ISD
Ms. Sharon Martinez	ISD
Mr. Apol Rosario	ISD
Mr. Pat. Valdemoro	ISD
Mr. Paul Asuncion	ISD
Ms. Liza Luistro	ISD

第2章 フォローアップ調査実施内容及び結果

1 フォローアップ調査実施方針

MSP の設計および調査実施の各段階（調査票の配布・回収、一次・二次データ審査、コンピュータシステムによるデータ分析と指数計算）における要点は既に本格調査の最終報告書でフィリピン側に提案されている。

本フォローアップ調査ではNSOによるMSPパイロット調査の実施状況を把握した上で、問題点とその改善点を指摘し、解決方法をNSOに提案する。さらにその改善作業を側面支援する。また、その過程でNSOが新MISSIと現行MISSIの違い、及び新MISSIの意義を十分に理解し、あくまで自律的に正式導入以降の本格的実施へ向けて取り組みを進めることを支援するものとする。

2 本格調査終了後のMSPパイロット調査実施状況

NSOは本格調査の提言を受けて2002年を対象年にMSP(Monthly Survey of Production)パイロット調査を、MISSIのRider Surveyとして、実施することを決定した。MISSIのRider Surveyとは、MSPパイロット調査実施に係る新たな追加予算措置はなく、現行MISSIの予算枠の中でMISSIの担当者が調査票の配布、回収、データ審査及び入力にあたることを示す。

(1) 調査スキーム

MSPパイロット調査は製造業24セクターを対象に、2001年12月より2002年2月にかけてNSOが本格調査団とともに最終対象事業所リスト作成のために実施したQualification Study of Manufacturing Establishments(QSME)において対象品目を生産していることが確認された計432の事業所を対象として実施されている。調査票には対象品目が記載されており、セクター毎に24種類の調査票が用意された。調査票配布の開始は2002年4月に入ってからである。調査票は1ヶ月分3枚で構成され、事業所、地方事務所が1枚ずつ保管し3枚目を本部が回収する。調査票の配布と回収は四半期毎である。

(2) データ審査

現行 MISSI においてはコンピュータへ入力する前に手作業によるデータ審査を行っているのに対して、本格調査の最終報告書は、迅速で正確なデータ処理のために MSP においては調査票回収後直ちにデータをコンピュータに入力し、データ審査は原則としてコンピュータシステムによって行うことを提言した。

しかし、第一次現地調査開始時には、システムが未完成であり、かつ手作業による審査に慣れているという理由で、審査は手作業でのみ行っていた。審査項目は下記の7項目である。

- ・ 期初在庫・生産・販売・期末在庫のバランスチェック
- ・ 製品単価の同一事業所前月値比較
- ・ 数量計測単位
- ・ 生産量を含む各実数値の同一事業所前月値比較
- ・ 期初在庫と前月期末在庫照合
- ・ 欠損・未記入値
- ・ 生産能力と生産数量の適正度

(3) 要員の配置

地方事務所においては MISSI の調査員が MSP 調査票の配布、回収にもあたっており新しい要員の配置は無い。本部では本格調査においてフルタイムカウンターパートとして調査の設計に参加した1名 (Mr. Efren Armonia) が引き続き MSP パイロット調査の専任としてアサインされている。同人は調査票の地方事務所への配布、回収調査票のコントロール、データ審査、事業所への問い合わせ業務を担当しつつ、データ入力・審査用コンピュータシステムの開発も継続して担当している。なお、コンピュータシステムについては、後述3.2を参照。

3 フォローアップ調査における支援内容

3. 1 実査支援

(1) 事業所フォローアップ作業への提言

MSPはフィリピンにとって新しいコンセプトの調査であり、現行のMISSIと比較して調査票の質問項目もより詳細なものとなっている。回収された調査票によるデータを審査することによって発見される不明データに関する事業所への確認、問い合わせ、また訂正依頼等のフォローアップ作業は、パイロット調査に限らず今後当該事業所から正しいデータを継続的に回収するためにも極めて重要である。第一次現地調査時はNSOの方針で地方事務所職員と調査員のトレーニングも兼ねるといふ狙いもあり、全てのフォローアップ作業は地方事務所を通して実施されていた。しかしながら、地方事務所においては、MSPがパイロット調査であり、かつRider Surveyであることから、現行のMISSIより低い優先順位で扱われ一件の不明データの処理に数週間もかかるような状況が見られた。

第二次現地調査時において、調査団はフォローアップ作業が必要な不明データリストを作成しNSOに提出すると共に、地方事務所を通さずに直接本部から電話によるフォローアップを行うことを提案した。これは現行MISSIにおいても一部行われている方法である。その結果、調査団の提出した不明データのフォローアップは対応するMISSIの各セクター担当者が電話によって行うことになった。その後も、Efren(フルタイムカウンターパート)の指示のもと、一部地方事務所経由の方法が残っているものの、事業所フォローアップ業務は原則として本部から直接行われている。

なお、後述するようにMSPパイロット調査は2003年も継続して実施することとなったが、2003年からは月次調査の正規の調査サイクルに合わせ、調査票の配布と回収は毎月行われている。

(2) 要員の拡充

第一次現地調査に重なったフルタイムカウンターパートの日本での研修期間中は臨時に2名が配置された。第二次現地調査において要員不足によるデータ入力作業の遅れが見られたためISD課長(Ms. Homecillo)に補充要員の配置が必要であることを提言したところ、臨時措置ではあるがさらに4名が新たにMSPチームに配置され、入力の遅れによる問題は解消された。セクター別のデータ審査はMISSIのセクター担当者(図-1参照)が行った。

(3) 第一、第二四半期品目別入力データチェックシートの作成と分析

MSPコンピュータシステムの完成に伴い同システムによるデータ審査が可能となったものの、NSOは手作業による入力前審査を継続しており、その後入力、システムによる審査、と言った手順で行っている。つまり手作業によるデータ審査をコンピュータで再確認している、ということになる。

データ審査の内容は同一事業所のバランスチェック、同一事業所の前月値比較が中心であり、新しい調査を開始し、基準数量を確定する段階の審査としては十分ではない。またQSMEの結果との照合もNSOの審査項目には含まれていない。これらの状況のもと、調査団はNSOによる審査には含まれていない以下の1)から5)の項目を取り上げデータ審査における支援を行った。

1) 品目毎の回答事業所のQSME結果との照合

QSMEで対象品目の少なくとも一つを生産している事が確認された事業所をMSPの対象事業所とした。つまりQSMEによって品目ごとの生産事業所リストが出来ている。その事業所が当該品目に回答しているかを照合した。

11月8日時点の入力データに基づいて作成した2回目のチェックシートで、延べ206事業所がQSMEでは生産していると回答した品目に対して調査票の質問項目に対して数量を回答していないことが判明した。リストをNSOに提出し、NSOは“調査票を返却していない事業所”と“調査票は返却したもののqualify

された品目への回答が無い事業所”に分類した上で、前者はリストを NSO 地方事務所送付し事業所に調査票返却を督促し、後者は本部より事業所へ直接電話をかけ問い合わせを行った。

2) 回答の継続性

一部の月のみ未回答の事業所を選びだし NSO にリストを提出した。NSO は直接電話による事業所への督促を実施した。

3) 主要事業所の回答状況

業界情報などにより当該品目の主要生産事業所であることが判明しているにも拘わらず回答の無い事業所については NSO に対して、長官名による協力依頼のレターを送付する等入念なフォローアップが必要であることを強調した。

4) 製品単価の事業所間のばらつき

生産数量と生産額から求める製品単価について同一事業所の月間比較だけではなく、事業所間のばらつきをチェックした。11月8日時点の入力データに基づいて、最大単価が最小単価の5倍以上である品目を選び出し、最大単価と最小単価を回答した計59事業所のリストを Inquiry Sheet と共に NSO に提出した。入力時の桁違いエラーなどが原因であるものも一部あったが、残りの全ての事業所に対して NSO は電話による確認作業を実施した。

5) 品目毎の月合計生産量

製品毎の月合計生産量を算出した。実数公表に耐える信憑性を検証するためである。

MSP による新指数の Base Period (基準時) を 2002 年第一第二四半期の 6 ヶ月間とすることを NSO と合意したうえで、NSO が MSP コンピュータシステム (FoxPro ベース、3.2 参照) に入力をしたセクター別・月別のデータを基に、

上記5項目のデータ審査のために、品目別入力データチェックシートを調査期間中計5回作成した。表-1に5回目として2003年3月4日時点の入力データに基づいて作成した入力データチェックシートの例(品目151-101 Dressed/packed poultry)を示す。156対象品目のうち、QSMEでQualifyされた事業所がなく、かつ回答が全くない14品目を除く、142品目について、事業所毎の1月から6月までの生産量、製品単価、及び全回答事業所の月生産合計数量と回答数を纏めたものである。

なお、MSPとMISSIの両調査共通の対象事業所については、それぞれの調査に対する回答状況を照合することでフォローアップ作業を効率良く進める事ができるはずである。しかし、MISSIは事業所コントロールに、NSOの事業所コードを使用しており、MSPでも使用しているECN(Establishment Control No.)を使用していない。作業に要する時間を考慮して、この照合作業は諦めざるを得なかった。

(4) 地方事務所訪問

MSPの調査対象である432事業所は全国に分散しているが、マニラおよびカラバルソンの事業所数とその68%を占める。なかでもRegion 4のLagunaおよびRegion 13のNCR District IIIの二つの地方事務所は50を超える事業所が存在する。2002年10月16日に、Ms. HomecilloとともにNCR District IIIの事務所を訪問し、MISSIとともにMSPパイロット調査の調査票配布・回収を担当する全ての調査員との面談を行った。

地方事務所員によって行われる第一次データ審査については、トレーニングは正しく行われており、チェック項目などに関して問題はなかったが、調査員の多くは計算機を持たずに調査票の回収を行っており、データ審査は地方事務所内で行われていることが判明した。そのため調査団は事業所での調査票回収時にその場でバランスチェック、単価チェック、前月値比較等が行えるよう計算機および前月の回答調査票のコピーを持参する事を強く提言した。

また、いくつかの事業所よりMISSIとMSPという類似調査の併行実施への疑問

と、事業所の負担に対する不満が調査員に向けられている。Ms. Homecillo よりいずれこの二つの調査は一つに統合される事を事業所に説明するよう指示が出された。調査員からは、多くの事業所から MSP は MISSI よりも質問が具体的であり回答し易いとのコメントを得ているとの発言もあった。ただし、数量データに関しては事業所から回答が容易に得られるものの、金額データに関しては本社への問い合わせが必要であり回答に時間を要したり、事業所では対応ができない等の問題が存在することも聴取された。

(5) 日系企業調査と MSP へのフィードバック

NSO は製造業を対象とした MISSI を実施しているものの、業界とのコンタクトをほとんど行っていないのが実情である。日本側は本格調査時から MSP の円滑な実施のためには業界との日常的なコンタクトが重要であることを NSO に強調してきており、本調査においてもデータ審査やフォローアップ作業の一環として NSO が主要事業所や業界団体を訪問することを提案した。各セクターの主要事業所を定期的に訪問し正確なデータをタイムリーに提供してくれるよう調査への協力を依頼すること、同時に業界の最新情報を聴取すること等の重要性を NSO は理解はしているものの、MISSI との併行実施で担当者が時間を割くことは困難であった。また MSP はパイロット調査であるものの、NSCB の認可を受けた上で NSO が実施しているものであり、指定統計として継続的に NSO が実施していくことが期待されている調査である。そのため日本側調査団が単独で調査対象事業所等を訪問することは、MSP が日本による単発的な調査であるような印象を与えかねず、また地方事務所・調査員を通して実施している事業所へのフォローアップ作業と交錯する恐れもある。

以上の点を考慮し、調査団は側面支援として、1) 日系企業リストの精査と 2) 日系企業訪問調査、を行いその結果を NSO にフィードバックすることを NSO と合意した。

日本商工会議所より NCR・カラバルソン及びセブの日系企業リストを入手し、製造業に分類されている全ての企業の中から調査対象品目を生産していると思われる企業(事業所)を選別した。そのリストを基に、NSO の了解を得たうえで、

MSP 対象事業所であるかどうかに関わらずアポイントメントが取れた企業（事業所）を訪問した。面談相手は日本人に限ること、NSO のデータ守秘義務を遵守すること、MSP 調査票に対する回答は受け取らないこと、などを徹底した。その訪問リストを表-2 に示す。電気・電子及び自動車関連企業が中心であった。

対象事業所であり既に回答している事業所には今後の継続的な協力を依頼した。未回答の事業所には調査の趣旨を説明し協力を依頼した。また集計した品目別月合計生産量や品目単価へのコメントや他の主要生産事業所に関する情報などを聴取した。訪問リスト、訪問で得た主要情報、及び NSO によるアクションが早急に必要とされる事項について整理し NSO に提出した。

第三次現地調査を終えるに当たって 2003 年 3 月 4 日時点の入力データに基づいて作成した入力データチェックシート上に、データ審査結果とともに、日系企業調査の結果を調査団コメントと共に提出したところ、その一部を添付資料-2 として添付する。

(6) 調査ツールのレビュー

NSO は他の事業所調査と同様 MSP 実施に際して調査票以外に、事業所に対する記入要領、調査員に対するフィールドマニュアル、本部職員に対する審査マニュアルを作成している。今回これらの調査ツールをレビューしコメントを NSO に提出した（添付資料-3）。

コメントの内容は、データ審査の過程で判明した事項を基に、空欄と“0”の区別の徹底、生産金額欄の記入上の注意、などが中心であった。また第一次データ審査を調査員が事業所で調査票を受け取るその場で行うことが効率的であり、そのために調査員は訪問時に 1) 当該事業所の記入済み前月調査票 2) 計算機 を持参する必要があることを改めて強調した。

(7) 回収率

第三次現地調査終了時点（2003 年 3 月 19 日）の調査票回収率は次の通りであ

る。(詳細は表-3 参照)

2002 年第一四半期	回収率	92.9%
2002 年第二四半期	回収率	91.2%
2002 年第三四半期	回収率	86.9%
2002 年第四四半期	回収率	86.9%

3. 2 新指数算定のためのシステム開発支援

FoxPRO および Excel を用いた MSP コンピュータシステムの開発を、調査団の支援のもと、NSO カウンターパートが行った。実査コントロール、データ入力、データ審査部分は FoxPRO を使用し、FoxPRO からの Output を基に指数算出・製表には Excel VBA を用いている。品目、Sector、Major Sector レベルでの数量ベースの生産指数・販売指数・在庫指数・実在庫率、間接法による Major Sector を含めた製造業総合生産指数、および品目レベルの生産キャパシティ指数・操業率指数の自動算出機能、Sector レベルでの基準年自動変換、現行 MISSI 指数との比較等の機能が組み込まれている。

FoxPRO 部分は本フォローアップ調査開始時点でほぼ完成していたことから、調査団は主に Excel VBA 部分の開発に対する支援を行った。NSO 側のシステム開発要員としては Efren 以外に 2 名が配置され、臨時措置ながら調査団システム開発担当者の指導のもとで作業を継続した。内 1 名は習得、理解も早く、今後予想されるシステムの維持管理にも十分に対応できるレベルに達したと思料される。また、第三次現地調査時には現行 MISSI の指数算出担当者に対して 1 週間にわたるカウンターパートによるトレーニングが、調査団の協力のもと実施された。

添付資料-4 はカウンターパートが作成したシステムの現時点の Operation Manual である。

なお、Excel VBA による加工統計部分の機能に関して、次の 2 項目は NSO が必要に応じて独自に追加開発するものとして現時点のシステムでは対応していない。

- 1) 生産金額指数 MISSI は生産金額指数 (VaPI) と価格指数から生産数量指数 (VoPI) を算出公表しているが、金額指数も同時に公表している。MSP の調査票が生産金額の記入を求めているのは基準数量に基づく品目ウエイト算出のためであり、ウエイト算出後は生産金額は不要である。調査団は新 MISSI への移行に合わせて金額指数の公表を止めることを NSO に提案している。
- 2) 出荷前月比 出荷に関して現在 MISSI は金額ベースの出荷前月比を公表している。それに対して MSP では数量ベースの販売指数を算出する。

3. 3 MSP 及び新 MISSI の新指数算定支援

新指数算定については、既に本格調査の最終報告書に調査団としての提案は一通り纏められている。現行の MISSI に代わり MSP を中心とする新 MISSI を指定統計とするための NSCB への説明と交渉の時期が近づき、NSO も改めて新指数について真剣に検討を始めている。MSP による新指数、MISSI と統合した新 MISSI 指数の詳細について調査期間中定期的に NSO と協議を行った。第三次現地調査においては NSO 長官および ITSD 部長、更に ITSD の Division Chief 4 人全員の出席のもと、2 月 24 日と 3 月 17 日の 2 回 MSP 会議を開催した。来年から新 MISSI が開始されるという前提のもとで活発な議論が行われ、指数算定のベースとなる製品毎の Key Establishments の考え方と選定方法、基準数量の算出、新指数の公表方法など多くの事項について合意がなされた。

特記すべき事項は次の 1)、2) である。

- 1) 本格調査での提案からの主たる変更点
 - a) MISSI とのリンク リンク係数による MSP 指数と MISSI 指数との接合は Major Sector レベルではなく Sector レベルで行う。MISSI 指数のユーザは Sector レベルでの時系列デー

タを求めている、という NSO の指摘による。

MISSI による指数は生産のみであり、あとは出荷の前月比を公表している。出荷と在庫は 1994 年の基準数量のデータがないため指数を算出することは不可能である。MSP 指数のうち 1994 年基準年で MISSI と統合するのは生産指数のみとなる。

- b) セクターウエイト セクターウエイトは MSP による品目別実数値ではなく、MISSI と同様に 1994 年 CE に基づくウエイトを使用する。MSP 対象セクターの生産・販売・在庫ウエイトの算出は NSO カウンターパートが担当した。
- c) 実在庫率の追加 在庫指数と販売指数からもとめる在庫率指数に加えて毎月の在庫・販売の実数比（実在庫率）を追加する。

2) 連鎖指数 (Chain Index)

NSCB は MSP に対するコメントのなかで、“1993 SNA Recommendation (国際連合が推奨している国民経済計算の概念や推計項目に対する現行基準)にあるように MSP もラスパイレスの連鎖指数を採用すること”を推奨している。これに応じて NSO から、“NSCB の強い要請であり現行 MISSI と同じく MSP においても連鎖指数を採用したい”という意向が調査団に対して示された。それに対して調査団は、“MISSI で採用している方法は、特定事業所の伸び率を前月指数に乗じて当月指数を求めるものである。これは Chaining と呼ぶべきであって Chain Index (連鎖指数)ではない。フィリピンにおいては NSCB が担当している SNA も含めて Chain Index は使われていない。”と説明してきた。今回 NSO もこの説明に理解を示したが、このテーマは NSCB との交渉時に再度取り上げられることがほぼ確実である。なお、連鎖指数はその算出に非常に時間と労力を要し、日本の月次生産動態統計においても採用されていない。

第三次現地調査において MSP コンピュータシステムの開発を担当したカウ

ターパートが中心になり、2003年1月30日時点および3月4日時点の入力データに基づいて2回新指数の試算を行った。MISSI 指数との比較も含めた結果は NSO 長官はじめ NSO の主要スタッフに配布された（添付資料-5 参照）。事業所へのフォローアップ作業は未だ継続中であり入力データも最終のものではない。しかし予定されている新 MISSI 認定へ向けての NSCB との交渉の NSO 側責任者であり、同時に NSCB 技術委員会のメンバーでもある NSO 長官は、この結果が既に説得力のあるものであることを認め、MISSI から新 MISSI への移行により積極的な態度を示しつつある。

3. 4 新 MISSI 移行への準備支援

本格調査最終報告書では MSP パイロット調査を 2002 年に実施したあと 2003 年の第二四半期頃には新 MISSI へ移行することを想定していた。しかしその後 NSO から、新指数を含む NSCB への申請書類の作成、申請、交渉には時間を要すること、また通常新しい調査実施への申請と承認は会計年度（1月から12月）に合わせて行われることを考慮してパイロット調査を 2003 年末まで継続すると連絡があった。新 MISSI への移行の目標時期は 2004 年となる。

(1) 2003 年パイロット調査

2003 年の NSO 予算は厳しいものであったが、MSP パイロット調査の優先順位は高く NSO の 2003 年の活動計画である Gantt Chart of NSO Activities（添付資料-6）に当初より記載されており、2003 年 3 月現在予定通り実施されている。

2003 年 MSP パイロット調査には、2002 年調査と同じく、NSCB による Clearance No.（承認）が必要であり、その申請業務は 2002 年 11 月に始められ第二次現地調査終了直前の 12 月 15 日付けで NSCB から承認通知があった。通知書には NSCB の MSP へのコメントも示されており、今後予定されている新 MISSI の政府指定統計認定に向けた NSCB との正式交渉の際の協議事項を推定することができる。2002 年と 2003 年の MSP パイロット調査への NSCB からの承認通知を添付資料-7 として添付する。3. 3 2) に記載されている NSCB からのコメント「1993 SNA Recommendation にあるように MSP もラスパイレスの連鎖指数を採用すること」

も同通知に記載されているものである。

1) 調査スキーム

2003年MSPパイロット調査のスキームに関しては2002年からの変更はない。対象セクターは24セクター、対象品目も同じである。より細かな仕様が必要であることが判明した品目（Animal Feed、Air Conditioner など）があるが変更はせず、2004年に正式に導入された際に再度検討することになっている。また1年間を通して無回答であった品目も取敢えず残すこととなっている。ただし、セクター341（自動車）と343（自動車部品）の調査票を一枚に纏めたため、計23種類の調査票となった。

2) 対象事業所

“ATE（従業員数）によるカットオフライン以上の全数調査”というMSPの対象事業所選定の原則は前調査以来繰り返しNSOに対して説明してきた。しかし事業所の生産停止、倒産など事業所の入替わりは激しい。新規事業所を如何に見つけ調査対象企業に加えていくか、という問題にNSOも強い関心を示している。

前調査において行った対象事業所選定のプロセスは1) ATEによるNSOの事業所マスターリスト（LE）からの抽出、2) 他の事業所調査結果および業界団体等の外部リストを基にした調整、最後に3) QSMEの実施、からなる。NSOに対してはこのうちの1)と2)を毎年繰り返すことで事業所のupdateを行うことを調査団は提言した。

NSOのLEは予算不足が原因で1999年以来正式にはupdateされていない。よってMSP担当者は一様にLEの不備を指摘し、2003年パイロット調査のために再度LEから事業所を抽出することには消極的であった。しかし担当部署へのヒアリングによると、フィールドワークや他のデータベースとの照合は行われてはいないものの、毎年事業所調査の結果を反映させる部分的な改訂（Administrative Updating）は行われてきている。第二次現地調査後半、調査

団は NSO より最新の LE を入手し、前調査時と同じ方法で ATE による裾切りを行い事業所の抽出作業を試みた。その結果前回の 1) の結果と比較しておよそ 200 の事業所が新たに抽出された。最新の LE による新規事業所の抽出作業の有効性が示された。

NSO に対してこの結果を示し、2002 年の調査で判明した倒産事業所、対象品目を生産していない事業所（計 49 事業所）を除いた上で、改めて最新 LE を用いて再抽出を行い現対象事業所リストとの照合を行った上で新規事業所を 2003 年のパイロット調査に加えるよう提言した。

NSO は調査団の提言に基づいて再抽出を行ったが、フィールドワーク予算に制限があるという理由で、総事業所数が 2002 年と同じになるよう ATE カットオフラインが調整された。この処置は予算上の制約でありやむを得ない面もあるが、新 MISSI は実数公表を目標としており事業所の選定基準が曖昧であってはならない。新たに抽出した事業所が全て対象製品を生産しているとは限らない。開始後に新事業所の一部は調査から除かれることになる。つまり調査開始前に事業所数を絞る必要は必ずしも無い。来年以降の事業所再抽出作業における NSO の課題である。表-4 に 2002 年及び 2003 年のセクター毎の事業所数を示した。

なお、2002 年のように対象品目に対する Qualified Establishments を特定する QSME を実施する時間と予算は無いため、NSO は 1 月の調査票配布時に事業所の生產品目を確認する必要がある。

また、フィリピンにおいては全ての事業所は各地方自治体に登録して Business Permit を取得する必要がある。地方自治体が保有する事業所データベースとリンクすることで NSO の LE も常に最新の状態に保つことが出来る。現在、幾つかの地方自治体にコンピュータとプログラムを設置し NSO の LE とリンクするパイロットプロジェクトが進行中とのことである。

3) 調査員トレーニング

NSO は 2002 年パイロット調査開始前には地方事務所員及び調査員に対するト

レーニングを実施したが、予算不足のため 2003 年調査のためのトレーニングは実施していない。

(2) Technical Notes on New MISSI

調査団は 1) 指数開発を中心にした調査期間中の NSO との協議での合意事項、2) 新 MISSI 移行の準備と実施に関する提言、3) 新 MISSI 実施までに NSO が解決すべき問題、を Technical Notes on New MISSI (添付資料-8) として纏め提出した。内容は NSO 長官を交えた会議で調査団より説明した。

Technical Notes on New MISSI の内容と要旨は次の通りである。

1. MSP の目的と調査方針

MSP は指数だけではなく生産実数値の公表を目的としていること、事業所調査ではなくアクティビティ調査であること、サンプル調査ではなく全数調査であること、などを改めて強調。

2. Key Establishments

基準時の回答状況から各製品の生産トレンドを代表する事業所群 (Key Establishments) を選定し、基準数量、ウェイトを算出。Key Establishments の選定は調査結果の信頼性を左右するものであり、その方法と基準について NSO と協議し合意した結果を整理。

該当品目を生産しておりかつ高いシェアを持つことが知られていながらも Base period (基準時) において回答が無かった事業所は Key Establishments の選定基準から外れる。しかし主要事業所を Key Establishments に含めないことは実数・指数の信憑性に重大な影響を及ぼすことが明らかである。また後日回答が得られた場合には時系列データの信頼性確保のために基準数量、指数の再計算、公表済みの指数値の改訂などが必要になり影響は大きい。NSO に対して現段階で再度調査票回収に最大限の努力をすること、その上で最悪の場合は業界団体などから得た情報を基に推計値を基に Key Establishments に含めることを提言。

3. 指数算定式

新指数の算出は基準時固定のラスパイレス方式によることは現行 MISSI と同じである。NSCB が推奨している Chain Index ではないことを確認。

4. 品目レベル指数

総合指数のベースとなる MSP の品目レベルの指数について整理。

5. 新 MISSI の指数総合化レベルと基準年

新 MISSI の総合指数の総合化レベルと基準年を整理。

6. ウェイト

総合化の各段階で使用するウェイトを解説。

7. 基準年変換

総合化の為に必要となる MSP 生産指数の基準年変更のプロセスを説明。

8. 製造業総合指数

本格調査で提案した 12 メジャーセクターによる製造業総合生産指数 (New MISSI-12) と NSCB が新 MISSI 実施承認の過程で要求してくると思われる現行 MISSI と同じ 20 メジャーセクターによる製造業総合生産指数 (New MISSI-20) の構成を整理し、同時に新 MISSI の販売と在庫の製造業総合指数について説明。

9. 生産実数値と新指数の公表開始にあたって

フィリピンにおいては一部のセクターを除いて、生産数量データは政府、民間ともに把握しておらず公表もされていない。現在までのところ NSO も現行 MISSI との時系列を維持した新指数の公表に主に関心が向いている。しかしもともと生産実数値の公表は MSP の主要目的の一つである。MISSI が新 MISSI へと移行し新しく出発するに際して、統計ユーザにインパクトを与え関心を高めるためにも実数値の公表は重要である。ただし実際に正式に実数を公表するためにはデータの信頼性についての可能な限りの検証が必要である。第三次現地調査を終えるにあたって調査団は最新の品目データを持ち

の業界資料および本調査期間中の業界団体などへのヒアリングの結果と照合した。その結果、回答事業所数も考慮した上で14品目を実数の公表可能な品目として提言。

実数公表にあたってはユーザに対して数字の根拠を明示することが必要であり、セクター毎に設定した ATE カットオフライン、品目毎の Key Establishments の数を公表の際注記することを提案。

指数に関しては、現行 MISSI にはない新しい指数のうち品目レベルの生産指数、セクターレベルの販売指数・在庫指数の公表を推奨すると共に、MSP 会議で NSO と合意した、2003 年 12 月の新 MISSI 指数と VoPI とのギャップの公表に際しての取り扱い方法についても説明。

10. 新 MISSI の実施

タイムリーなデータの公表を実現するために、一旦本部に調査票が回収された後は、事業所へのフォローアップは地方事務所を通さずに直接本部から電話で行うことを強く提言。業界の新しい情報を掴むために、NSO のセクター担当者は主要事業所や業界団体との情報チャンネルを築き、それを維持する必要があることを強調。

11. Key Establishments のメンテナンスと指数接続

調査が一定の代表率を保ち業界の動向を正しく反映する為には Key Establishments の更新を定期的に正しい方法で行うことが必要である。1) 新しい事業所が対象品目の生産を開始した場合、2) 以前から対象品目を生産していた事業所が新たに見つかった場合、3) 事業所が倒産した場合、の3ケースについて、Key Establishments への追加、Key Establishments からの削除、それに伴う指数の断層処理方法について提言し、NSO との基本的な合意が得られた。1) 2) の場合 Key Establishments への追加は最低3ヶ月間の連続回答が得られた段階で行うことを原則とした。

12. 公表

現行 MISSI は指数の改訂を調査票回収に合わせていつまでも繰り返してお

り、NSCB やユーザから苦情を受けている。新 MISSI の公表は速報、確報、年間補正の 3 回のみとし、速報と確報の公表目標時期を対象月から 45 日と 75 日、目標回収率を 70%以上、90%以上とする。年間補正以後はデータ及び指数の改定はしないことを提言。

1 3. 指数分析

新 MISSI による新指数によって将来可能となる景気分析の一例として在庫循環図を紹介。

1 4. 新 MISSI 実施に向けての検討事項

NSO が新 MISSI の開始までに NSCB との協議で決定すべき問題として、調査票設計、間接法セクターの事業所選定、金額指数と価格調査の取り扱い、他の政府機関のデータ利用、の 4 点を提言。

a) 調査票設計

新 MISSI のもとで間接法を採用するセクターには現在の MISSI の調査票を継続使用することは可能。ただし MISSI の質問項目の一部 (Employment/Compensation および Capacity Utilization) は MSP の調査票には含まれていない。MISSI のユーザがこれらの項目を全てのセクターについて今後とも必要とするのであれば、MSP 調査票に追加することが必要。

労働省等でも調査をしている Employment/Compensation が月次調査の項目として今後とも必要なのか、NSO に疑問を提示。

b) 間接法セクターの事業所選定

新 MISSI のもとで間接法を採用するセクターの事業所選定について、主流を占める MSP との整合性を保つために、“ATE カットオフライン以上の全数調査” の原則を適用することを提案。

c) VaPI と PPI

直接数量を求める MSP では金額指数 VaPI を計算せず、価格指数 (PPI) も不要。新 MISSI のもとでは間接法を採用するセクターに対してのみ価格指数

が必要。新 MISSI 開始後 PPS (Producer's Price Survey) を廃止するのか継続するのか、NSO は早急に関係者と協議して決定する必要があることを指摘。

d) 他省庁のデータの利用

他の省庁が MSP で求めるデータを既に調査しているのであれば MSP が重複して調査する必要は無く、同データを調査実施コストの削減や迅速な公表に活用することが可能であることから、NSO に対して他省庁が所有するデータについての調査を提言。

15. コンピュータシステム

FoxPRO とエクセルによる新 MISSI コンピュータシステムのアウトラインを図で提示。

(3) 指定統計認定のプロセス

2004 年の現行 MISSI から新 MISSI への移行に係る NSO の NSCB との交渉は 2003 年 5 月から予定されている。準備に要する時間を考慮すると 10 月までには、2004 年 1 月から現行 MISSI に代えて新 MISSI をパイロットではなく通常の調査 (regular survey) として実施するための Clearance No. を取得する必要がある。

フィリピンにおける国家指定統計認定の申請・審査・承認のプロセスを図-2 に示した。NSCB の Executive Board の事務局は NSCB に置かれるが、10 数人のメンバーは政府各省の次官・局長級から構成される。委員長 (chairperson) は NEDA の事務次官クラスがつとめる。学識経験者からなる Technical Committee が新しい統計を理論・手法面から検討するのに対して、この Executive Board は新統計承認に係る行政手続において最終的な判断を下す役割を担っている。

なお、新 MISSI で扱うメジャーセクターの数については、本格調査の最終報告書では現行 MISSI の 20 メジャーセクターのうち 8 メジャーセクターを新 MISSI から除外することを提案した。しかし、NSO は、「NSCB は製造業全体の動向把握、および SNA 作成の資料として 20 セクターもしくはそれ以上のセクターデータを

必要としている」という理由で新 MISSI も現行 MISSI と同じく 20 メジャーセクターを取り扱わざるを得ないことを危惧している。調査団は NSCB との協議において、12 セクターで既にフィリピン製造業の動向をモニターするには十分なカバリッジをもっていること、構造調査ではなく動向調査である月次調査には正確さと同時に迅速性が強く求められており調査規模の拡大はその迅速性を損なう恐れがあること説明し説得するよう進言しおいた。

第3章 フォローアップ調査後の対応

1 新 MISSI 用コンピュータシステムについて

本フォローアップ調査の終了後、NSO は新 MISSI が指定統計として承認を受けるまでの作業、さらに公表に向けた作業を進めていくこととなる。また NSO からは現在一応の開発が終了した新 MISSI 用コンピュータシステム (Provisional System) に加え、本格的なシステム (Permanent System) の構築を要望も出されていた。これらを踏まえ、本分野の協力の今後の扱いについて現地調査と並行して、日本において関係機関とも検討を進めてきた。その結果、以下のとおり判断し、第3次現地調査終了時点で NSO 側に説明をし、了解を得た。

(1) Permanent System 構築に係る協力の必要性について

これまでのフォローアップ調査を通じて本格的なコンピュータシステムの必要性を検討してきた結果、以下の理由から NSO の要望している本格的なシステム開発に係る協力は当面必要ないものと判断した。

- ・ Provisional System であるものの、当面の新 MISSI の実施には必要な基本機能は一通り備えたものが日本側の支援の下で完成したこと
- ・ 本格的なシステムを構築するためには新 MISSI が政府指定統計として承認され、継続的な実施を通してその調査・解析手法が確立した段階で行うことが望ましいこと

(2) 本格的コンピュータシステム構築

ただし、NSO 側が継続的に本格的なコンピュータシステム構築に対する協力を要望する場合には以下の点が認められた時点で再検討することを、NSO 側に通知し、了解を得ている。

- ・ 新 MISSI が指定統計として認定され、一定期間継続して行われその手法

が確立していること

- ・ Provisional System の機能の制限により、Provisional System では新 MISSI の本格的実施に支障が生じることが明らかになること

2 今後の協力のあり方

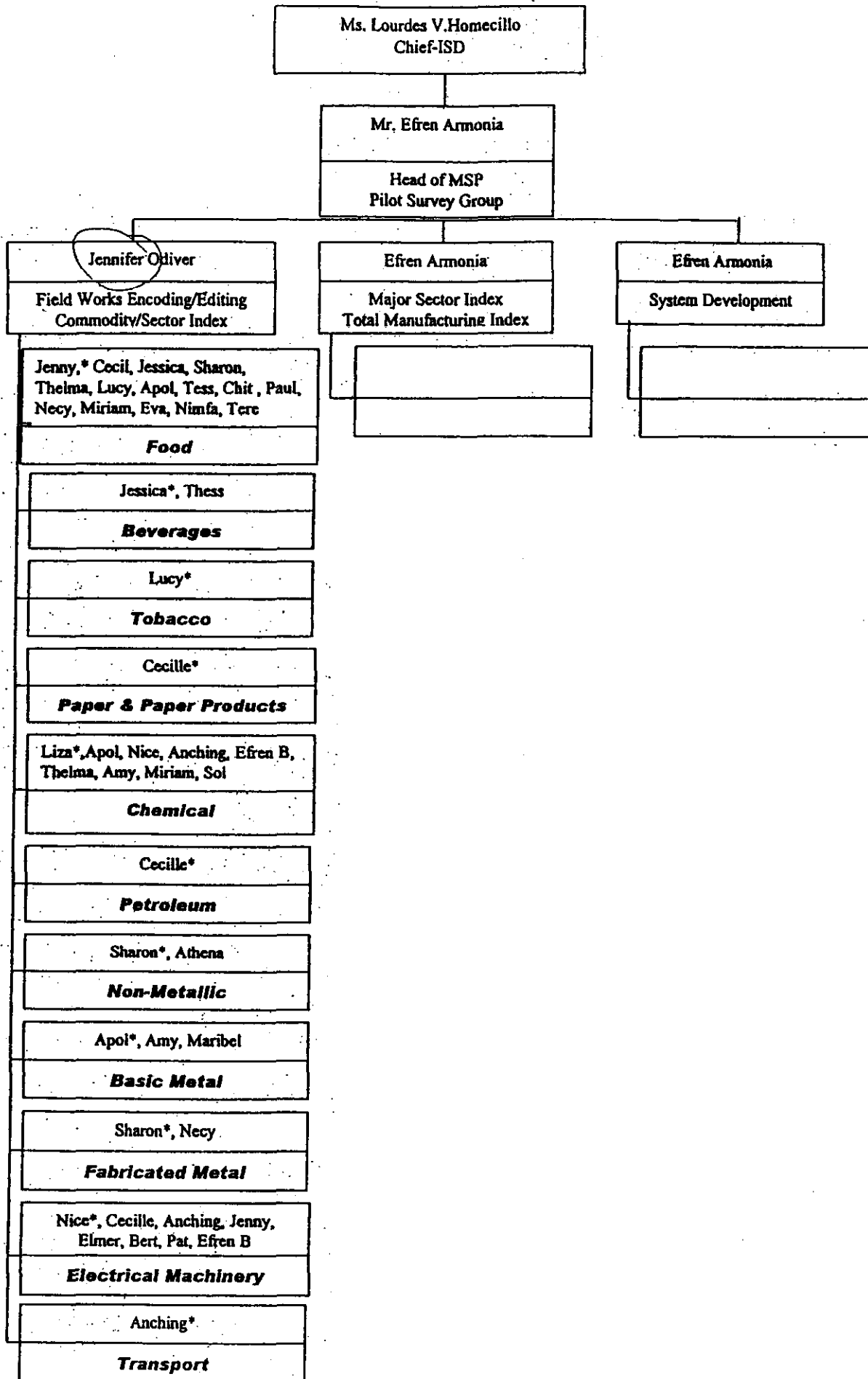
統計分野の協力においては、開発調査による制度作りのみならず、実際にその制度に基づく統計値が実際に公表されるまで長い目で協力をしていくことが必要とされる。本件においても、新 MISSI が NSCB から指定統計承認を受けると共に、正式導入による公表に向けた作業、新 MISSI の比国における定着に向けて毎月繰り返し行われる月次作業等における日常業務の実務面で種々の困難、解決すべき課題が発生することが予想される。また、日本の開発調査の提言により導入される新 MISSI が正式に導入され、官民に対して信頼性の高い結果が公表されるためにも、これまでの提言、支援を踏まえ、作業が適切に行われているかを言わばモニタリングしていくことも必要と思料される。

現在、NSO 側から専門家派遣の要請が出されているところであるが、上記を踏まえ、専門家により NSO に対する NSCB からの承認取り付け、月次業務の確立、公表等に対する実務面の指導が行われることは意義あることと思料される。また、本格的なコンピュータシステム (Permanent System) の開発支援の必要性等についても上記の条件に鑑み、専門家の報告等を基に検討していくことも一案である。

付属資料

図-1	NSO における MSP パイロット調査実施体制
図-2	国家指定統計認定プロセス
表-1	入力データチェックシート例 (151-101)
表-2	調査団による日系企業訪問リスト
表-3	2002 年度 MSP 調査票回収率
表-4	2002 年及び 2003 年セクター別調査対象事業所数
添付資料-1	本格調査提言要旨
添付資料-2	入力チェックシートへのコメント例
添付資料-3	MSP 調査ツールへのコメント
添付資料-4	MSP コンピュータシステム用 Operation Manual
添付資料-5	指数試算結果
添付資料-6	NSO 工業統計部 (ISD) 2003 年度活動予定ガントチャート
添付資料-7	MSP パイロット調査実施に係る NSCB よりの承認通知
添付資料-8	Technical Notes on New MISSI

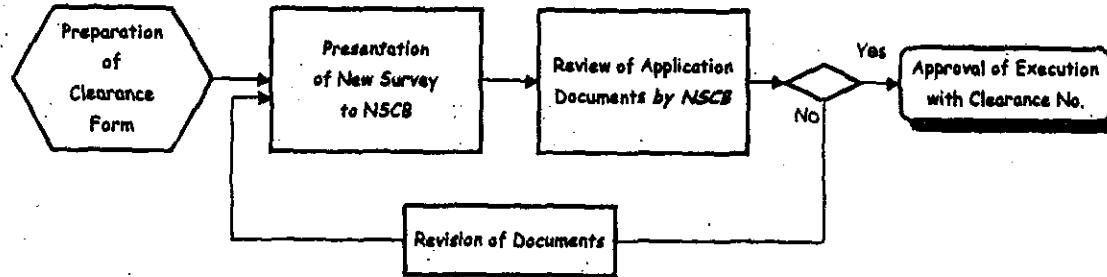
Execution of MSP Pilot Survey



Note: (*) – in charge of sector index

Approval of Execution of New Surveys

(Applicable to MSP Pilot Survey)

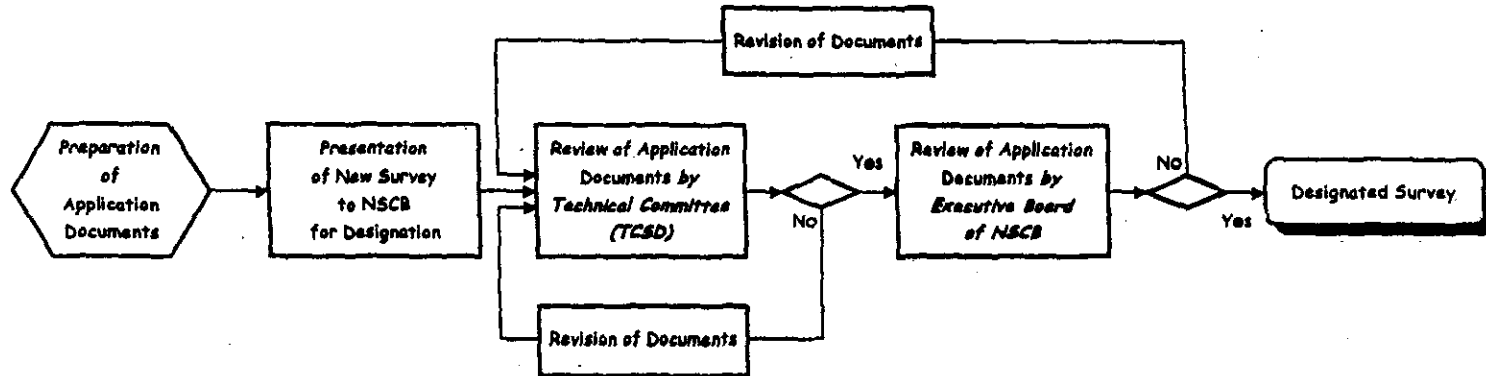


Designation Procedure of New Surveys

(Applicable to New MISSI)

Note 1) This procedure shall strictly be followed by the NSO or any other governmental agencies.

Note 2) Most of the TCSD members are from academic circles.



151 Processed Meat, Fish, Fruits and Vegetables

151-101 Dressed/packed poultry		Unit: Ton										As of March 4, 2003		
ECN	Establishment Name	C101	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
331300041896G6		X												
541600522599D6		X	707.64	557.62	492.79	842.39	1,957.88	1,670.31	2,041.64	2,041.82	2,041.64	2,010.55	944.27	819.33
141800081896D6		X						0.00						
141100044096D5		X						0.00						
541100019896D6		X												
541600253296D0		X	2,376.72	2,230.54	1,888.90	1,880.46	2,073.77	1,954.54	67,140.00	73,000.00	76,720.00	75,149.98	79,849.63	77,549.99
581000070999A5		X	560.00	515.00	410.00	627.00	207.00	757.00	5,751.79	5,704.85	5,878.05	5,813.40	5,748.79	5,521.80
630300710499D0							0.00							
740300568596D9		X												
760700394818D9			66.00	66.00	56.00	57.00	92.00	48.00	156,910.64	155,524.67	148,902.00	151,938.33	146,332.91	148,296.38
740302055701D0		X												
740400216396D0		X	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
740300358596D9		X	238.00	318.00	208.00	247.00	222.00	205.00	93,697.48	91,823.90	94,230.77	85,425.10	95,945.95	97,073.17
Monthly Total Production Volume			3,948.36	3,687.16	3,055.69	3,753.85	4,552.65	4,634.85						
No. of Responses			6	6	6	7	6	8						

- 3 -

表-2 企業訪問リスト

日付	訪問先	セクター
2002年11月26日	FUJITSU Philippines, Inc.	OA 機器
2002年11月27日	SHARP Philippines Inc.	OA 機器、家電、AV 機器
2002年11月27日	SANYO Philippines, Inc.	家電
2002年11月28日	NIPPON Paint Philippines, Inc.	化学製品
2002年11月28日	SANDEN Aircon Philippines, Inc.	エアコン
2002年11月29日	SUZUKI Philippines, Inc.	オートバイ
2002年12月3日	NISSAN Motor Philippines, Inc.	自動車
2002年12月3日	ISUZU Philippines Co.	自動車
2002年12月3日	ISUZU Autoparts Manufacturing Co.	自動車用部品
2002年12月4日	DAIKIN-ALEN Air Conditioning, Inc.	エアコン
2002年12月4日	Fujitsu Ten Corporation of the Philippines	AV 機器
2002年12月4日	Kawasaki Motors Philippines Co.	オートバイ
2002年12月5日	Pilipinas HINO, Inc.	自動車
2002年12月5日	ASAHI Glass Philippines, Inc.	ガラス
2002年12月9日	TOYOTA Autoparts Philippines, Inc.	自動車部品
2002年12月9日	FUJITSU Computer Products Co. of the Philippines	OA 機器
2002年12月9日	UNIDEN Philippines Laguna, Inc.	産業用無線機
2003年1月28日	TSUKUBA Philippine Diecasting Co.	OA 機器部品
2003年1月28日	USHIO Philippines, Inc.	電球
2003年1月29日	TOKUMI Electronics Philippines, Inc.	電子機器
2003年1月30日	MATSUSHITA Electric Philippines	家電、AV 機器
2003年2月4日	Fujitsu Die-Tech Co. of the Philippines	OA 機器部品
2003年2月4日	HITACHI Computer Products Co.	OA 機器
2003年2月4日	NIDEC Philippines Co.	OA 機器部品
2003年2月4日	AJINOMOTO Philippines Co.	* 食品
2003年2月4日	Dainippon Ink Chemicals Philippines, Inc.	* 化学製品
2003年2月4日	Taisho Pharmaceuticals Philippines, Inc.	* 健康飲料
2003年2月4日	Philippine Nagano Seiko, Inc.	機械部品
2003年2月5日	MITSUBISHI Motors Philippines	自動車
2003年2月5日	MATSUSHITA Communication Industrial Co.	OA 機器
2003年2月5日	New Leyte Edible Oil Manufacturing Co.	食品
2003年2月5日	EDS Manufacturing, Inc.	* 自動車部品

2003年2月5日	JVC Philippines, Inc.	*	AV 機器
2003年2月6日	TOYOTA Motor Philippines Co.		自動車
2003年2月6日	Philippine Kyoritsu, Inc.	*	自動車部品
2003年2月6日	SONY Philippines, Inc.		AV 機器
2003年2月10日	HONDA Cars Philippines, Inc.		自動車
2003年2月10日	SANDEN Aircon Philippines, Inc.		エアコン
2003年2月10日	ISUZU Autoparts Manufacturing Co.	*	自動車部品
2003年2月10日	Mitsumi Philippines, Inc.	*	OA 機器
2003年2月11日	EPSON Precision Philippines, Inc.		OA 機器(プリンター)
2003年2月11日	SANDEN Aircon Philippines, Inc.		エアコン
2003年2月11日	Far East Wire Harness Co. Cebu	*	自動車部品
2003年2月12日	EPOCH Corporation		食品
2003年2月12日	SONY Philippines, Inc.	*	AV 機器
2003年2月13日	Cebu MITSUMI Inc.	*	OA 機器
2003年3月11日	EDS Manufacturing, Inc.	*	自動車部品
2003年3月11日	International Wiring Systems Co.	*	自動車部品
2003年3月11日	Mitsumi Philippines, Inc.	*	OA 機器

* 電話によるコンタクト

Receipt Status of 2002 MSP Questionnaires By Sector
 < As of 8:00 a.m., March 19, 2003 >

SECTOR	No. of Samples	RECEIPT		Problem		Encoded	RECEIPT	Problem		Encoded	RECEIPT	Problem		Encoded	RECEIPT	Problem		Encoded
				Back	OS			Back	OS			Back	OS			Back	OS	
TOTAL	434	403			39	326	396			312	377			268	314			158
151	66	62			5	53	62			51	56			43	51			31
152	8	7			-	6	7			6	7			4	5			2
154	29	28			3	24	29			23	26			18	20			7
155, 15141	44	42			4	36	41			35	41			33	32			21
157	14	13			-	10	11			8	11			6	9			2
158, 15152	17	16			1	9	16			10	14			8	9			3
160	6	6			-	6	6			6	5			5	5			3
210	35	35			3	25	35			23	34			24	32			13
232	3	3			-	3	3			3	3			3	3			2
241	17	16			5	11	15			8	14			6	13			3
242	26	24			-	22	24			21	24			18	13			4
261	6	5			-	5	3			4	5			5	4			4
262	13	12			1	11	11			10	11			9	11			8
271	11	8			-	7	8			7	8			7	6			3
272	2	2			-	2	2			2	2			2	2			0
281, 289	33	31			5	23	30			21	32			16	27			10
291	28	24			5	16	25			17	20			12	16			9
300	15	12			1	9	11			9	11			10	10			8
314-5, 319	9	9			-	7	9			7	9			6	6			3
321, 323	4	4			2	2	4			2	4			2	4			1
324	10	10			2	9	10			9	9			7	9			5
341-2	16	13			1	11	14			12	12			7	12			7
343	17	16			1	14	15			13	14			12	11			7
351-3, 359	5	5			-	5	5			5	5			5	4			2

表-4 2002年度及び2003年度セクター別調査対象事業所数

SECTOR	MSP 2002 SAMPLES	OS, CLOSED, ETC	NEW SAMPLES	2003 MSP SAMPLES
TOTAL	434	49	48	433
151	66	3	3	66
152	8	2	1	7
154	29	3	2	28
155	44	3	4	45
157	14			14
158	17	1	1	17
160	6			6
210	35	2	3	36
232	3			3
241	17	5	6	18
242	26	1	1	26
261	6			6
262	13	1	1	13
271	11	1	1	11
272	2			2
281	33	7	7	33
291	28	7	7	28
300	15	4	2	13
314	9	1	1	9
321	4	2	2	4
324	10	2	2	10
341	16	2	2	16
343	17	2	2	17
359	5			5

本格調査提言要旨

本格調査のカウンターパートであるフィリピン国家統計局 (NSO) は 1998 年以来、製造業セクターの動向をタイムリーに示す生産指数の公表を目的として製造業月次調査 (Monthly Integrated Survey of Selected Industries ? MISSI) を実施している。政府指定統計であり、NSCB による SNA 作成にも採用されている重要な調査の一つである。ただし MISSI は次のような問題を抱えている。

生産指数は本来価格要素の介入しない生産数量をもとに作成されるべきものである。しかし MISSI が生産数量指数 (Volume of Production Index - VoPI) として公表しているのは生産金額指数と価格指数から計算された実質生産金額指数である。MISSI も品目別生産数量データを事業所に求めてはいるが、品目選定を行っておらず調査票には品目名が明記されていない。よって統計として使用できるデータが得られずやむを得ず事業所の総生産金額をもとに間接法によるセクター生産数量指数を公表している。よって 1) MISSI とは別の価格調査による価格指数が介在することによる不正確さが懸念されており、さらに 2) 業界から求められており国際比較にも欠かせない品目指数・品目別生産実数値が無い。販売や在庫に関する指数が無いこともユーザの利用範囲を狭めている。

本格調査の目的はこれらの問題を抱える現行 MISSI を品目別数量調査に改善し移行することであった。品目別数量調査の狙いは品目別の生産数量統計と直接法による生産・販売・在庫指数の開発である。品目別数量調査の設計を以下の手順で行った。

1. 付加価値額代表率に基づき対象セクターを選定した。
2. セクター毎に付加価値額代表率に基づく品目コードを選定した上で、他の調査に現れる品目との照合、関係企業・企業団体への訪問調査等によりセクターを代表する対象品目を選定した。
3. 指数のみを公表してきている MISSI では当初の事業所選定方針からの逸脱が多々見られる。一方、品目別数量調査は実数値公表を目指す以上、全数調査であることが基本である。ただし事業所数の点でそれが困難である場合は裾

切りラインを設けることになる。本調査においては付加価値に対応させた従業員数による裾切りラインをセクター毎に設定し、NSO の事業所リストおよび企業団体のディレクター等を基に対象品目を生産している可能性のある事業所を選び出したうえで、実際に各事業所を訪問して対象品目を生産しているかどうかを確認し最終的な事業所リストを作成した。

なお、種類があまりにも多岐にわたる製品、仕様や価格の変動が極端に激しい製品等、品目別数量調査に不向きな品目は、現行 MISSI の間接法による数量指数算出方法を継続することを提案して品目別数量調査から除外した。また国内や海外の親会社からの下請け事業所が主流を占めるセクターは、半製品を出荷している事業所が多く厳密な数量調査には準備と実施にコストがかかることになるが、一方生産量-販売量-在庫量のコントロールを親会社に任せている例が多く販売数量や在庫数量の調査結果はフィリピンの業界の景気を必ずしも反映しているとは限らない。つまりコストベネフィットの観点から品目別数量調査には不向きであると判断し、やはり間接法による数量指数算出を継続することを提案した。

現行 MISSI は製造業の 20 メジャーセクターを対象としているが、代表率、調査の規模とコスト、迅速な結果の公表の達成を考慮して、12 メジャーセクターに絞ることを提案した。そのうち 11 メジャーセクターは品目別数量調査に移行して直接法により生産指数を算出する。製造業の動向を知るために省くことは出来ないものの下請け事業所が多く品目別数量調査が適当ではない残りの 1 メジャーセクターは間接法による調査を継続する。品目別数量調査の 11 メジャーセクターの対象品目数は 156、対象事業所数は 432 である。直接法と間接法を組み合わせた計 12 メジャーセクターの調査を現行 MISSI に対し仮に新 MISSI と呼ぶこととなった

NSO は 2002 年から MISSI と併行して 11 メジャーセクターを対象に品目別数量調査 (Monthly Survey of Production - MSP) をパイロット調査として実施することを決定した。調査を終わるにあたって、1 年間のパイロット調査で調査ツールを検証しデータを蓄積すると同時に、データ審査と指数算定用のコンピュータシステムを開発すること、2003 年の第一四半期に、1 年間の調査実績、蓄

積データ、算定指数（生産・販売・在庫）を基に NSCB との交渉を行い、第二四半期からは現行 MISSI に代えて新 MISSI を正式の政府指定統計として実施することを提言した。

Memorandum

March 11, 2003

ATT: Ms. Lourdes V. Homecillo
Chief - Industry Statistics Division, NSO
Re: Data Verification of MSP
CC: Mr. Efren Armonia

Please find attached our comments on the output data of the MSP for the first and second quarters of 2002 as of March 4, 2003. Our comments are on the 27 commodities (27 sheets).

Production, sales and inventory volume data of the continuous respondents during the first and second quarters of 2002 serve as base figures for commodity index and commodity weight. Those establishments are called "Key Establishments", the performance of which will be taken for the sector trend thereafter. Missing of any key producers from the "Key Establishments" will do a big damage to the data reliability. Also inclusion of them at a later stage may require the revision of index time series. All efforts need to be done to avoid omission of key producers from the list of "Key Establishments".

Key producers that may need your last efforts in following-up are highlighted on the attached sheets.

Best regards,



Toru Moriguchi
JICA Study Team

Processed Meat, Fish, Fruits and Vegetables

151-102

Dressed/packed red meat

Unit: Ton

As of March 4, 2003

ECN	Establishment Name	C102	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
541100019896D6		X												
210800028196D3		X	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
240201014096D7		X	144.14	120.75	123.24	0.00	0.00	0.00	69,053.41	71,997.11	66,553.92			
760700394818D9		X	1,680.00	1,951.00	2,239.00	2,383.00	2,644.00	2,803.00	91,815.33	92,643.24	91,535.80	100,292.33	101,916.69	102,164.77
210600047296D4			1,596.00	1,864.00	2,155.00	2,307.00	2,552.00	2,703.00	89,446.21	90,555.44	89,721.25	98,955.92	100,452.15	100,871.25
740400216396D0			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
750400252396D6		X												
740300358596D9		X												
740200347296D6			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
Monthly Total Production Volume			3,420.14	3,935.75	4,517.24	4,690.00	5,196.00	5,506.00						
No. of Responses			6	6	6	6	6	6						

This establishment is on strike. But it may be one of the key producers of the commodity. Please include this establishment in the "Key Establishments" assuming "0" for production volume during the base period.

151-107 Fruits and vegetable sauces		Unit: Ton										As of March 4, 2003			
ECN	Establishment Name	C107	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06	
292200010100D6		X			420.00	207.79					29,761.90	49,203.52			
282100012296D7		X	0.00	0.00	1,256.31	629.23	0.00	0.00			17,359.19	44,151.54			
141800098799D9			114.00	114.00	114.00	114.00	114.00	114.00	1,170.00	1,170.00	1,170.00	1,170.00	1,170.00	1,170.00	
340400077796D1		X	75.14	80.25	83.38	69.49	167.60	174.23	16,573.85	20,037.96	19,450.49	19,704.26	19,947.75	19,497.10	
430500859818D0		X													
631200033696D1		X													
750300100496D3		X	0.00	6.12	3.30	12.80	7.40	0.00		7,590.20	7,590.00	7,590.31	8,111.89		
750200250196D8		X	875.00	825.00	890.00	839.00	880.00	945.00	13,290.00	13,290.00	13,290.00	13,290.00	13,290.00	13,290.00	
750200237096D7		X													
740400742696D5		X													
750400224496D2		X	3.89	4.27	3.09	4.05	4.58	5.59	11,312.34	11,300.94	11,318.12	11,394.57	11,311.57	11,300.00	
750400058196D4		X	1,925.37	1,031.36	1,874.94	1,893.72	2,271.04	2,139.06	10,306.21	10,706.82	10,363.81	10,384.62	10,348.28	10,487.48	
750400252396D6		X													
740300358596D9		X	721.00	466.00	430.00	664.00	527.00	501.00	49,930.65	49,356.22	47,906.98	47,439.76	49,525.62	49,501.00	
740200347296D6			74.00	84.00	76.00	22.00	55.00	107.00	45,314.38	44,442.80	46,768.64	57,243.32	50,091.93	42,976.13	
750300301899D4		X	21.60	19.80	18.90	20.70	21.60	19.80	5,590.00	5,590.00	5,590.00	5,590.00	5,590.00	5,590.00	
Monthly Total Production Volume			3,810.00	2,630.80	5,169.92	4,476.78	4,048.22	4,005.68							
No. of Responses			10	10	11	11	10	10							

Most probably this establishment is one of the key producers of the commodity. All possible efforts need to be made for data collection. Even if questionnaires are not returned despite them, it is recommended to include this establishment in the "Key Establishments" with estimated monthly production volume. This will help smooth data processing and index computation when they start responding in the future. Please refer to "Technical Notes on New MISSI (MSP)".

155-102 Carbonated drinks

Unit: 1,000 liters

As of March 4, 2003

ECH	Establishment Name	C102	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
331400041196G8		X	1,508.98	1,550.17	2,320.82	2,410.69	1,679.85	3,513.60	9,377.09	8,690.30	8,259.56	7,904.49	8,658.70	5,241.60
551700017496D2		X	628.96	530.76	738.61	810.17	744.24	810.17	97,955.67	124,278.86	1,387,140.40	96,600.71	88,843.41	114,959.82
33130002609677		X	2,604.00	2,184.00	2,556.00	3,881.16	4,070.85	3,067.70	8,843.00	6,959.13	6,998.44	6,941.81	7,000.27	6,958.30
282000018196D3		X	2,783.84	2,826.72	4,664.05	50.31	43.65	73.54	9,680.40	11,335.00	10,313.75	600,083.48	564,263.29	554,607.20
31140001879655		X	2,503.00	2,525.00	3,921.00	5,143.00	4,671.00	7,277.00	8,594.62	8,100.83	7,567.22	7,264.85	7,547.92	7,341.09
310800026496D8		X	2,302.49	2,214.87	3,830.94	3,607.44	2,880.98	4,264.34	5,652.64	7,546.97	7,400.88	7,464.91	8,492.41	7,628.47
541600081196D8		X												
541600058296D1		X	4,958.37	5,448.64	8,364.79	7,398.51	6,892.82	4,275.13	6,690.00	16,660.00	16,660.00	16,660.00	16,660.00	16,660.00
541600347596G3		X	4,577.33	5,681.12	4,112.75	4,984.06	5,109.31	4,230.43	16,500.00	16,500.00	16,500.00	16,500.00	16,500.00	16,500.00
342500048396D4		X	5,393.81	5,737.07	7,974.35	7,069.84	4,464.72	6,916.54	15,017.29	14,760.26	14,796.55	14,948.58	15,925.80	15,441.04
342800044796D0		X	12,452.52	9,358.49	21,330.88	20,471.65	20,370.74	31,962.49	7,871.12	7,861.31	8,341.98	8,268.88	8,268.46	8,346.10
340500053496D7		X												
172400074096G0		X												
17240025089644		X	83.67	54.15	62.98	116.20	98.29	111.54	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00
450100952199D4		X	4,454.00	4,068.00	4,412.00	5,058.26	5,264.49	8,405.56	8,375.45	8,705.51	9,183.31	9,123.31	9,034.19	9,269.52
303800003096D6		X	4,997.00	4,997.00	5,249.00	5,320.00	4,959.00	8,516.00	6,363.94	8,023.45	10,691.19	9,328.53	13,988.16	10,896.17
450100431096D2		X	2,226.50	1,952.83	2,110.60	2,487.37	2,481.29	1,979.53	9,845.07	9,842.14	9,840.79	9,845.28	9,845.29	9,845.27
304100004896D4		X	3,146.00	2,923.00	3,379.00	3,671.00	3,886.00	3,131.00	6,836.54	6,837.80	6,837.58	7,041.86	6,861.82	6,775.33
304700009896D9		X	596.36	1,382.31	1,406.85	111.87	103.67	155.71	10,000.00	10,000.00	9,951.28	9,650.00	9,650.00	9,650.01
124200041696G3		X	1,954.22	1,774.93	2,627.01	2,627.12	2,569.26	3,112.75	6,646.50	6,676.53	4,274.04	6,572.11	7,386.78	7,257.80
221900007796D3		X												
22320000579655		X	2,962.85	2,669.26	2,741.85	3,389.03	3,753.73	3,265.51	6,358.33	6,430.76	8,158.42	7,359.40	7,391.82	7,161.91
223000053196D1		X	6,586.00	6,727.00	8,718.00	8,821.00	9,301.00	12,617.00	8,193.14	8,181.95	8,287.45	8,380.00	8,430.28	8,433.86
374700041496D1		X	4,953.01	4,394.61	4,808.35	7,299.55	7,344.24		39,420.50	23,779.12	22,590.90	24,229.00	24,038.60	
37480001809622		X	1,787.58	1,671.79	1,827.57	2,222.90	2,794.12	2,210.75	6,472.44	6,945.16	6,950.46	7,044.48	7,026.98	7,087.26
430500127896D3		X	6.27	6.89	7.60	8.80	7.10	8.90	181.50	184.33	186.05	18,333,588.24	18,435,711.27	18,192,224.24
240200317096D5		X	4,372.47	4,528.51	5,797.84	5,762.67	5,144.19	7,169.48	5,693.31	6,040.35	6,465.67	6,396.96	6,694.19	6,380.26
24020109989622		X	5,998.00	4,993.00	5,020.00	7,019.00	6,080.00	5,315.00	6,727.08	6,685.57	7,986.73	6,170.82	7,102.14	6,779.30
24020029449677		X	11,841.00	12,384.00	14,676.00	14,459.00	13,127.00	19,135.00	16,411.31	16,550.26	16,631.18	16,514.13	16,702.29	16,464.06
63030007689677		X	3,821.12	4,039.49	4,510.41	4,498.50	4,623.90	5,694.90	7,417.31	7,845.25	6,974.01	6,970.00	7,000.00	7,000.00
750200060996D2		X	3,921.00	3,725.00	4,327.00	5,062.00	5,028.00	6,500.00	10,877.03	10,902.47	10,932.24	10,987.47	10,899.80	10,864.16
760300235796D7		X	10,488.30	8,796.60	11,630.50	13,940.00	14,235.00	12,673.00	5,799.22	6,978.72	5,330.30	7,204.45	7.20	7.21
750100337996D0		X	9.49	0.00	4.22	13.49	23.13	0.00	27,229.96		27,229.99	27,229.99	27,230.00	
240201466796G3		X												
740405887900D4		X						0.00						
Monthly Total Production Volume			113,898.14	109,145.20	143,130.78	147,710.59	141,751.57	166,393.50						
No. of Responses			29	29	29	29	29	29						

Please verify.

Please verify.

210-102 Newsprint

Unit: Ton

As of March 4, 2003

ECN	Establishment Name	C102	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
081200001896D3		X												
540900137096D2		X	16,813.81	12,812.12	16,761.50	16,683.82	15,777.92	18,910.36	20,930.44	21,366.09	20,413.38	17,036.06	17,475.73	17,946.04
340400044596D0		X												
34250006996D4			45.00	127.00	36.00	244.00	0.00	0.00	22,000.00	22,000.00	22,000.00	22,031.15		
810200085996D4		X												
750100083796D1		X	5.60	7.28	10.92	0.00	0.00	0.00	34,749.29	34,606.59	34,749.73			
740400108296D3		X	132.05	144.68	96.35	81.49	92.17	125.69	36,820.00	36,820.00	36,820.00	36,819.99	36,820.00	36,819.99
750200143696D0		X	234.00	198.00	166.00	115.00	105.00	271.00	16,134.40	17,132.75	18,562.29	18,650.01	16,109.20	17,232.40
780300545196D0		X												
750100649396D3		X					0.00	0.00						
760300238296D2		X												
680300053996A4		X	4,622.00	3,865.00	4,281.00	4,253.00	2,942.00	3,848.00	23,091.74	28,297.02	23,330.76	29,487.42	31,159.76	27,954.52
Monthly Total Production Volume			21,852.46	17,154.08	21,351.77	21,377.31	18,917.09	23,155.07						
No. of Responses			6	6	6	6	7	7						

According to the Association of the sector this establishment is one of the key producers of the commodity. All possible efforts need to be made for data collection. Even if questionnaires are not returned despite them, it is recommended to include this establishment in the "Key Establishments" with estimated monthly production volume. This will help smooth data processing and index computation when they start responding in the future. Please refer to "Technical Notes on New MISSI (MSP)".

Domestic Electric Appliances

291-108		Alr conditloning machine (for motor vehicles)										Unit: Unit				As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C108	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06			
340300518399D5		X	792.00	761.00	615.00	615.00	1,065.00	878.00	27,826.34	27,673.86	31,989.27	31,059.83	29,459.31	34,424.11			
340500448699D8		X															
340500386096D5		X															
390000000201D7		X															

340500448699D8

Monthly Total Production Volume 792.00 761.00 615.00 615.00 1,065.00 878.00

No. of Responses 1 1 1 1 1 1

ISD staff accompanied by Mr. Aragaki visited the establishment to return the original questionnaires for data correction on Feb. 11, 2003.

300

Office, Accounting and Computing Machinery

300-104		Printer											As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C104	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
760300271596D3		X	5,613.00	317.00	1,761.00	5,027.00	1,851.00	4,430.00	4,677.18	8,211.36	6,828.51	4,947.18	5,207.14	4,721.87

Monthly Total Production Volume 5,613.00 317.00 1,761.00 5,027.00 1,851.00 4,430.00

No. of Responses 1 1 1 1 1 1

EPSON accepted to cooperate on Feb. 11, 2003 when ISD staff accompanied by Mr. Aragaki visited them. According to several sources of sector information, with SHARP and EPSON, the commodity coverage of the survey can be close to 100%.

300-107 Hard disc drive Unit: 1,000 pieces As of March 4, 2003

ECN	Establishment Name	C197	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
211700073196D9			689.96	609.57	542.52	799.41	771.07	717.56	51,579.51	51,103.87	67,762.41	42,381.14	49,614.94	47,417.01
340300518199D7		X												
342800091296D9		X	592.00	640.00	669.00	749.00	739.00	740.00	4,747,164.17	4,711,497.20	4,862,085.59	4,069,026.22	3,931,402.91	3,869,303.95
34030051499D9		X	663,960.00	662,120.00	722,100.00	774,660.00	863,040.00	880,880.00	5,406.87	5,255.98	5,244.66	5,320.43	5,241.12	5,344.60
342800083496D1		X	80,759.00	84,197.00	97,688.00	98,231.00	96,711.00	103,532.00	2,512.39	2,426.49	2,076.82	2,213.47	2,105.45	1,936.75
222300014736D5		X												

Monthly Total Production Volume 748,000.96 747,566.57 820,999.52 874,439.41 963,281.07 885,869.58

No. of Responses 4 4 4 4 4 4

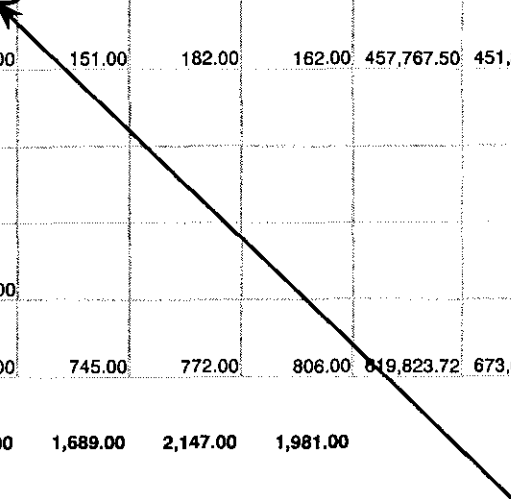
FUJITSU Computer Products

Mr. Aragaki visited this establishment and confirmed that their product is only die-cast parts of hard disks. This establishment should be excluded from the MSP.

Please verify. 1/1,000 ?

Motor Vehicles and Bodies for Motor Vehicles

341-101 Passenger car		Unit: Unit											As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C101	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
331300001996D6		X												
342800168096D1		X												
342000027396D7			110.00	147.00	139.00	165.00	145.00	98.00	632,131.86	588,066.33	630,618.71	664,717.95	807,377.63	#####
342800247318D3		X				628.00	1,048.00	915.00				607,761.68	528,701.92	519,755.16
580500133296D8		X	155.00	168.00	147.00	151.00	182.00	162.00	457,767.50	451,385.64	474,572.24	506,907.01	474,071.68	468,012.62
223000175696D0		X												
760402074601D7		X												
760100121996D2					1.00						41,804.00			
760400817796D7		X	468.00	620.00	618.00	745.00	772.00	806.00	619,823.72	673,090.32	638,927.99	600,565.10	628,790.80	646,865.12
Monthly Total Production Volume			733.00	935.00	905.00	1,689.00	2,147.00	1,981.00						
No. of Responses			3	3	4	4	4	4						



Questionnaires were collected by the enumerator on May 8, 2002.

341

Motor Vehicles and Bodies for Motor Vehicles

341-104 Truck (light truck <3-6 tons>)		Unit: Unit											As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C104	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
331300001996D6		X												
342000027396D7			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
340300457318D1		X	7.00	35.00	26.00	42.00	59.00	54.00	424,633.14	432,203.00	447,458.50	441,859.69	450,480.81	469,831.19
580500133296D8		X	38.00	36.00	31.00	33.00	29.00	13.00	583,549.68	597,626.50	580,259.00	602,994.64	603,974.62	585,068.46
223000175696D0		X												
740100847696D7		X												
760100121996D2				1.00		6.00		4.00		11,804.00		11,804.50		11,804.50

Monthly Total Production Volume 45.00 72.00 57.00 81.00 88.00 71.00

No. of Responses 3 4 3 4 3 3

According to CAMPI Ford is assembling pickups.

343-107 Wire harness		Unit: Unit											As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C107	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
342800119796D4		X												
211700141218D2		X	145,000.00	45,000.00	80,000.00	80,000.00	202,720.00	39,000.00	6.58	13.23	15.05	8.75	5.19	3.93
101400221996D0		X	102,493.00	83,584.00	76,882.00	76,719.00	93,464.00	82,406.00	2,122.48	2,134.98	2,041.34	2,159.73	2,154.86	2,059.81
34050024379677		X	455,624.00	451,832.00	466,469.00	505,253.00	537,000.00	433,087.00	1,325.65	1,790.49	2,098.75	1,860.45	2,022.35	1,923.40
222600096696D9		X	1,264,997.00	1,662,024.00	1,719,854.00	1,676,797.00	1,360,681.00	1,567,725.00	264.68	267.29	263.09	281.39	281.98	290.37
Monthly Total Production Volume			1,968,114.00	2,242,440.00	2,343,205.00	2,338,769.00	2,193,865.00	2,122,218.00						
No. of Responses			4	4	4	4	4	4						

Please include 1) EDS Manufacturing Inc. in Cavite (ATE more than 5,000) and 2) International Wiring Systems Co. in Tarlac (ATE more than 3,000).

Please verify.

343-108 Transmission		Unit: Unit											As of March 4, 2003	
ECN	Establishment Name	C106	P-01	P-02	P-03	P-04	P-05	P-06	UP-01	UP-02	UP-03	UP-04	UP-05	UP-06
342800119796D4		X												
340300457318D1		X												
340300298996D0		X	13,208.00	13,241.00	10,543.00	11,224.00	13,146.00	14,145.00	12,894.77	13,391.58	12,760.71	17,714.40	18,164.10	17,291.91
340500023196D7		X	3,479.00	4,013.00	4,178.00				23,288.01	23,662.10	24,636.67			

Monthly Total Production Volume 16,687.00 17,254.00 14,721.00 11,224.00 13,146.00 14,145.00

No. of Responses 2 2 2 1 1 1

Confirmed that the establishment returned questionnaires by post.

It is reported that MITSUBISHI and HONDA are also assembling transmission.

Memorandum

December 12, 2002

ATT: Ms. Lourdes J. Homecillo
Chief - Industry Statistics Division, NSO
Re: Revision of Survey Tools of MSP
CC: Mr. Efren Armonia

We are pleased to suggest that the following modifications are made to the survey tools of the MSP.

1) Instructions in Accomplishing the MSP Form No.1 - MSP FORM NO.2

1)-a Modify the sentence of COL. (13) - PRODUCTION VALUE of I. FINISHED PRODUCTS

In case of transfer, report the production value as though sold.

should read:

In case that any of the products produced have not been sold during the reference month, report the production value as though sold.

1)-b Add new paragraphs to COL. (13) - PRODUCTION VALUE of I. FINISHED PRODUCTS

Fill in all the spaces of your product(s) from Col. (5) to (13). Write "0" in inapplicable space(s). Do not leave blank any space of your product(s).

Leave blank all the spaces of the products outside of your product mix. Do not write "0".

2) Field Operations and Editing Manual

2)-a "Volume of Ending Inventory" is missing from the list of data items to be collected of 2.6 Questionnaire Content on Page-12.

2)-b Insert "production" to the paragraph of "Value of Production" on Page-15

This is equal to the volume multiplied by the producer's price --

should read:

This is equal to the *production* volume multiplied by the producer's price
==

2)-c Chapter 5 EDITING INSTRUCTIONS on Page-27

Field editing should ideally be done by the enumerators when collecting the accomplished questionnaires at the establishments. For this purpose the enumerators must carry with them 1) copy of the accomplished questionnaires of the previous month(s) and 2) a calculator.

2)-d Add new paragraphs to 5.2 Instructions for Completeness Check on Page-27

4. Ensure that all the spaces of the products within the establishment's product mix are filled in by either "a non-zero entry" or "0", and are not left blank.

5. Ensure that all the spaces of the products outside of the establishment's product mix are not filled-in by "0" and are left blank.

3) Processing Manual

3)-a "Volume of Ending Inventory" is missing from the list of data items contained in MSP Form 1 on Page-5.

3)-b Delete the sentence "For the list of target commodities by sector refer to Appendix 1." from the first paragraph of Page-8.

3)-c Modify the paragraph for "Value of Production" on Page-9

In case of transfer, report the production value as though sold.

should read:

In case that any of the products produced have not been sold during the reference month, report the production value as though sold.

3)-d Modify the example on Page-13

Delete "0" from the spaces of "Molasses" so that the example may well serve to show the difference between "0" and blank.

3)-e Add new paragraphs to 3.3.1 Item I - Finished Products on Page-14

2. Check if all the spaces of the products within the establishment's product mix are filled in by either "a non-zero entry" or "0", and are not left blank.

3. Check if all the spaces of the products outside of the establishment's product mix are not filled-in by "0" and are left blank.

We understand that it is about time to print all the survey tools for the pilot survey 2003. We hope this suggestion was made in time.

Best regards,


Toru Moriguchi
JICA Study Team

***MONTHLY SURVEY OF PRODUCTION
COMPUTER SYSTEM
VOLUME 1
(FOXPRO SYSTEM)***



Republic of the Philippines
NATIONAL STATISTICS OFFICE
Manila

TABLE OF CONTENTS

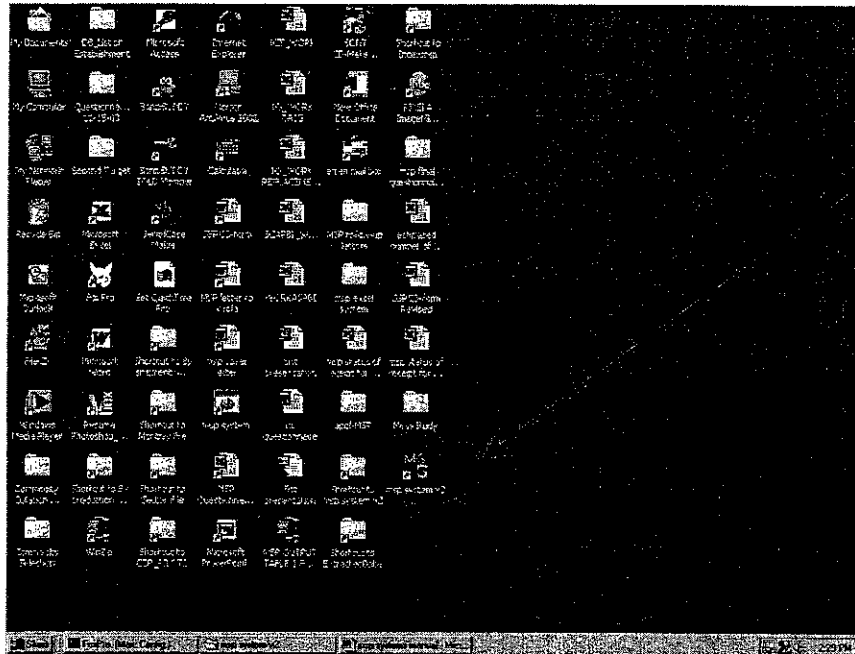
TABLE OF CONTENTS.....	iii
I. GETTING STARTED	1
II. RECEIPT & CONTROL MENU	3
II.1. RECORD QUESTS RECEIVED.....	3
II.2. VIEW QUEST STATUS	5
II.2.1. VIEW QUESTS RECEIVED/NOT RECEIVED	5
II.2.2. VIEW ENCODED/NOT ENCODED.....	7
II.2.3. GENERATE PROGRESS REPORT	8
III. DATA ENCODING/EDITING/TABULATION MENU.....	11
III.3.1. UPDATE QUESTIONNAIRE RECORDS	12
III.3.2. ENCODE NEW QUESTIONNAIRE	13
III.3.3. DELETE ESTABLISHMENT RECORD.....	13
III.3.4. CHECK CONSISTENCY OF DATA	14
III.3.5. GENERATE OUTPUT TABLES.....	15
III.3.6. GENERATE ANNUAL DATA SERIES	17
APPENDIX 1 - FLOW CHART OF I S D EDITING ACTIVITIES FOR MSP....	18
APPENDIX 2 - PROGRAM FILES.....	19
APPENDIX 3 - REFERENCE AND DATA FILES.....	20

I. GETTING STARTED

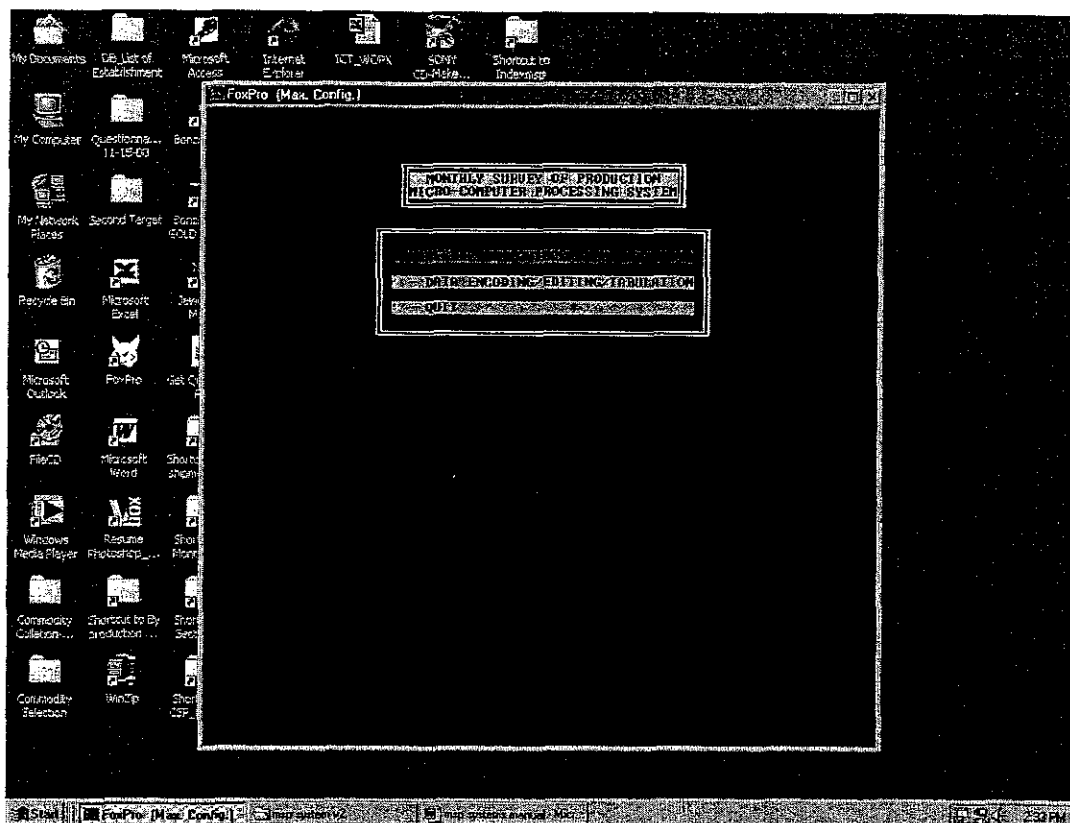
The Monthly Survey of Production (MSP) Computer system was developed using the FOXPRO version 2.5. The system is menu driven and therefore foreseen as easy to use.



At the Windows desktop, double click the msp system v2 icon



The main modules of the MSP system will then be shown. The up or down cursor keys may be used to move to the choice or one may press the number of his choice.



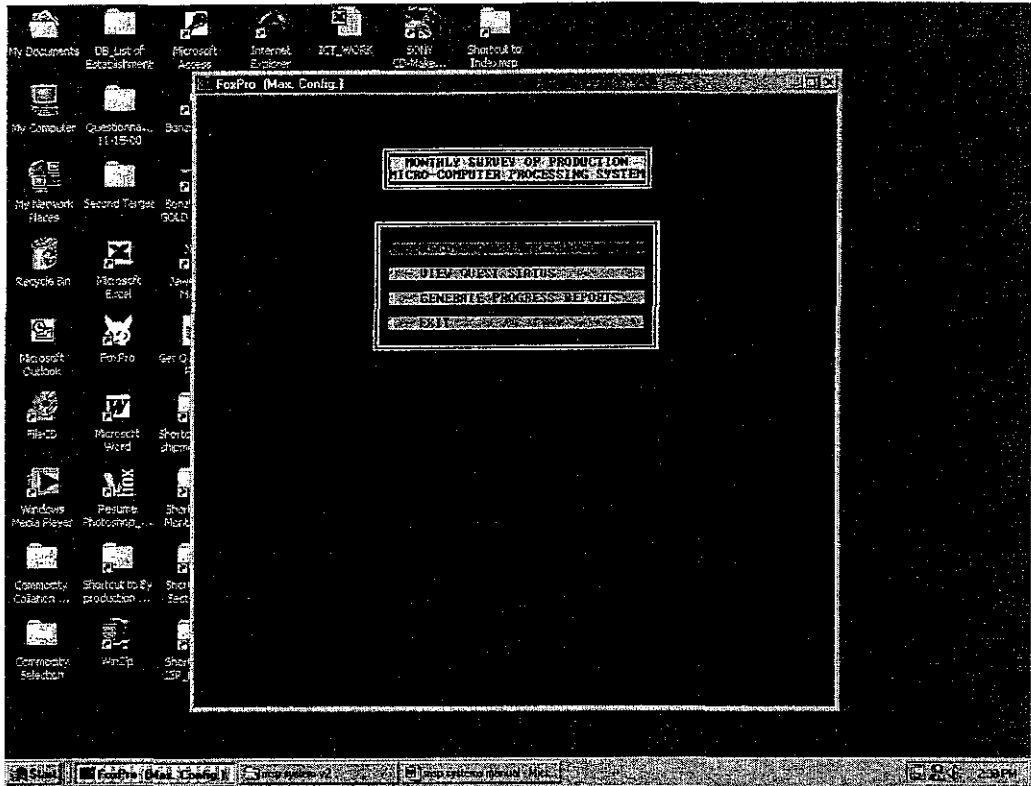
Option 1 is the **Receipt & Control** module. In here, the user will be able to record the date the questionnaires were received and remarks regarding the status of the questionnaires. This module also allows you to view the list of questionnaires that have been received/not received. Moreover, the module could also generate a daily cumulative progress report.

Option 2 is the module for **Data Encoding, Editing and Tabulation**. This module will allow data entry, computer editing and generation of output tables to be used for index computation.

Option 3 is to exit the system.

Note: Full screen mode could be done by pressing **ALT** and **<enter>** keys simultaneously.

II. RECEIPT & CONTROL MENU



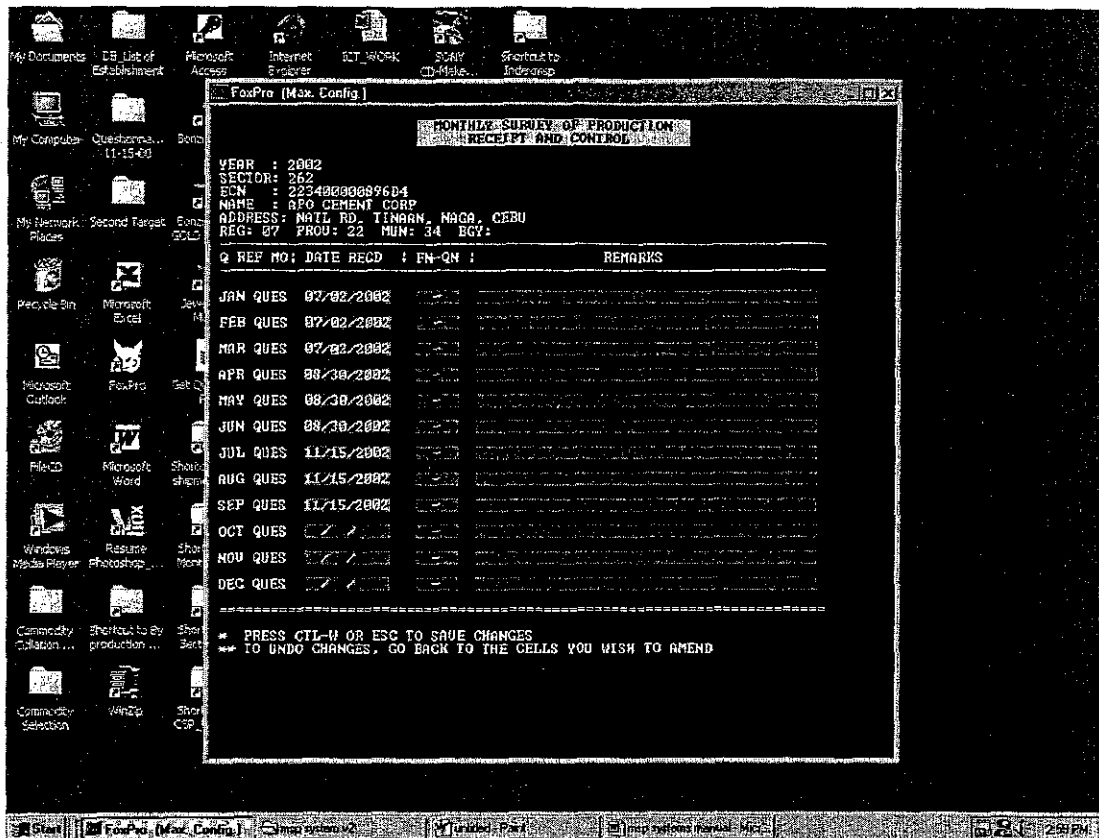
Under the **RECEIPT & CONTROL** module there are four (4) choices to select from as shown above.

II.1. RECORD QUESTS RECEIVED

If 'RECORD QUESTS RECEIVED' is chosen, the program will ask the following: the reference year, sector and the establishment ID.

```
ENTER YEAR: 2002
ENTER SECTOR/FORM TYPE: 262
ENTER ECN          : _____
```

If the prompts were correctly entered, the screen would show other information about the establishment such as the name, address and geographic classification of the establishment.



The screen would show the columns for the date of receipt and remarks for the questionnaires of the twelve (12) months. Date of receipt of the questionnaire should be entered in the proper cells. For example, date of receipt of the questionnaire for February should be encoded in the row of the Feb questionnaire. Dates should be entered in the MM/DD/YYYY format, e.g., 07/31/2001. After entering the date of receipt, the cursor will move to the remarks column. Pressing **CTL-W** or **ESC** would save the changes. To undo changes, go back to the cells to be amended. Pressing **<enter>** key would move the cursor to the next field.

When one is done with recording of a questionnaire received, the system will ask if one wishes to record another questionnaire. The query will be displayed at the upper right side of the screen.

If the user answered 'Y', the screen will go back to ask him to enter the sector and establishment control number (ECN).

If the user answered 'N', the system will ask further if one would like to enter questionnaires for another reference year and if 'Y' is pressed, the system will ask him to enter another reference year. Pressing 'N' will send the system back to the sub-menus of the receipt & control module.

R&Cyyyy.DBF is the file used in this module where yyyy is the year.